



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

ROTARY 2000:
ACT WITH
CONSISTENCY
CREDIBILITY
CONTINUITY



ロータリー2000:
活動は—堅実、
信望、持続

1999~2000年度 国際ロータリーのテーマ

第634回 平成12年 3月22日(水)

[本日のプログラム]

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 点 鐘 | |
| 2. ロータリーソング
「それでローテリー」 | |
| 3. 食 事 | |
| 4. 会長の時間 | |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 委員会報告 | |
| 7. 点 鐘 | |

- | | |
|------------|--|
| 次回予告 | |
| ★ 3月29日(水) | |
| 観桜会 | |
| ★ 4月5日(水) | |
| 4月セレモニー | |
| 理事・役員会 | |

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週水曜日 (12:30~13:30) 会長 福井 輝文
例会場 石崎浜莊 ☎0985-73-1913 副会長 梶田與之助
事務局 宮崎佐土原市下野町3887-17 幹事 恒吉 正志
☎880-0212 会計 林 厚雄
TEL&FAX 0985-73-7170 会賛賛 池田 仁志

第633回例会記録 (2000. 3. 15)

☆会長の時間

会長 福井 輝文君

皆様 今日は

第633回の例会です。

去る3月12日(日)のIM出席、有り難う御座いました。

今年のIMは、ホストクラブの日南中央RCが、前もってから、趣向を凝らしたIMにしたいと言っていた通り、本当の意味で良い研修会でした。

会長だけ別室で会食があったのですが、その中で、例会中に非常に私語が多い…との指摘がありました。我々の例会も例外ではありません。

『魅力ある例会創り』『会員増強』について、色々討議されました。追々機会ある時、お話していきたいと思います。

私も残された期間、魅力ある楽しい例会創り…を目指して努力したいと思っております。

今、新潟県警の不祥事、地下鉄の重大事故、等々次から次へと発生しております。我々ロータリアンもリーダーが多いのですが、リーダーとしての資質が甘いのではないかと、私自身も反省しております。

本日も容器包装リサイクルの記事をコピーしてきました。

現在の容器包装リサイクル法は、消費者やメーカーが循環型社会に適した容器を選択するインセンティブが全く働いていない。それを機能させるためにも、早

く社会の多数派が納得できるLCA(ライフサイクルアセスメント)の手法を確立すること。そして行政はそのデータを、容器材料や消費者への課税金制度など、新たな施策に反映させていくべきだ。としています。

本日は岩下廣美会員の卓話もありますので、ここで会長の時間を終わります。

☆幹事報告

幹事代行 吉田 康一郎君

1. 例会変更及び休会通知

①3月31日(金)は「創立45周年記念
並びに観桜会の為、
時間 18:00 ~に変更

都城 RC

②4月4日(火)は「観桜会」の為、
時間 18:00~
場所 レインボーゴルフクラブ [] に変更
都城北 RC

③4月14日(金)は「早朝例会」の為
時間 AM6:30~ [] に変更
場所 高木原緑道公園 [] に変更
都城 RC

2. 市郡7クラブ幹事会のご報告

当佐土原RCの当番で、去る3月10日標記の幹事会が宮崎市内の『海幸』にて行われました。

その席で私が、各クラブの幹事に、「幹事になられて如何ですか?」と尋ねましたところ、色々なご意見が出されました。

例えば、宮崎北RCは、幹事が例会進

行係をしているとのこと。
当クラブは、S A A の田村君が長いこと
請け負っていますが、幹事が進行係をす
るとなると大変だなーと感じました。

他のクラブも例会の進行並びに雰囲気
創りに、色々苦労している様子がうかが
われました。

宝塔山は少し寒いかもしませんが、
薔薇の桜を眺めながら、一杯飲み交わしま
しょう。

全員参加をお願い致します。

【歯車会ゴルフコンペ】へのお誘い

西都RCの当番で下記のとおり、開催
されます。

記

☆出席報告

委員長 柳田光寛君

会員数	26名
例会出席者	20名
出席率	77%
メーティング者数	2名
修正出席率	85%
欠席者名	植木(朝)、鶴見(頤)

期日 4月14日(金)

場所 座論梅ゴルフクラブ

集合 AM9:00

スタート AM9:30

参加費 ¥3,000

参加予定者

福井輝文君	伊東忠寛君
梶田與之助君	徳丸彰一君
吉田康一郎君	藤堂孝一君
池田仁志君	宮原建樹君

☆親睦委員会

委員長 吉田康一郎君

【観桜会】について

観桜会はプログラム通り、下記の通り
敢行致します。

記

日時 3月29日(水)

午後 6:30~

場所 宝塔山

雨天時『かぼちゃ』



他の方も、どしどし参加をお願い致し
ます。

☆会員卓話

岩下廣美君

職業柄、水の問題について、お話ししたいと思います。

我々は水が無ければ生きて行けません。使った水を綺麗にして、自然に返すことが大事ではないかと思います。

先ず、私達は朝起きて、顔を洗い、歯を磨き、トイレに行き、炊事、洗濯、風呂と生活を快適にする為にも水は欠かせないものです。

台所、風呂、洗面、洗濯等のいわゆる生活排水は何も処理しないで、直接側溝へ流し、トイレは浄化槽を通じて側溝へ流しているのが一般的な排水方法であります。この排水が川を通じて海へと流れています。

汚した水を処理しないで、川や海へ流す訳ですから、ますます汚れがひどくなるばかりで、魚や貝類、蛙等の生き物は生存する事が非常に厳しい環境になって行っているのではないでしょうか。

家の前の側溝、特に勾配が取れていな所では、ノロが張って非常に汚いのが判ると思います。

私は小、中学校の頃の夏は、学校から帰ると、勉強らしいものはせず、すぐに近くの小川に魚を取りに行くのが日課でした。沢山獲れました。

今の川はそれができにくい様です。

そこで、昔の水を取り戻す為に、家庭用の小型合併浄化槽が開発、販売される様になりました。

昨年の4月からは、合併浄化槽しかメーカーが作らなくなっています。

合併浄化槽とは、家庭内の排水とトイ

レの汚水と一緒に処理する物です。

BOD（生物化学的酸素要求量）を20PPM以下にして排水するシステムです詳しくは、先程配付しました、パンフレットに記載されております。

佐土原町内の公共下水道、農業集落排水事業の予定外では、合併浄化槽を設置しますと、補助金制度があります。ちなみに、5人槽では、￥354,000の補助金があります。

小牧台、光陽台及び町内の公共下水道の処理区域では、側溝が綺麗になっているみたいで、蚊や蠅が住みづらくなっている様です。

次の世代へ綺麗な川を蘇らせる為にも合併浄化槽と公共下水道設置の促進をお願いしたいと思っているところであります。

私の好きな言葉

彫琢復朴（彫琢朴に復る）　著

益田RC　齊藤勝貴

挑戦、努力

何事にも一生懸命やりたいから。

淡路三原RC　前川豊

人の喜びを我心の喜びとする。

著人　中村天祐の言葉

広島北RC　室内宣裕

君子の交わりは淡きこと水の如し

中津中央RC　馬場好明



佐土原らしい町づくり

佐土原町長 戸 敷 正

21世紀を目前にして魅力ある佐土原の町づくりについては、就任以来一貫して申し上げているとおり『快適で 潤いのある町 佐土原』の創出であると考えております。まず、本町の特徴といいますと宮崎県央部に位置し、地理的・地形的な特異さや利便さに加え、気象条件では日照時間・冬季の温暖さ等他より秀でたるところあります。さらに、交通網の整備充実がなされ、陸海空へのアクセスは県都宮崎市にも優ると考えております。

このことがベットタウンとして発展した由縁であると考えておりますが、これからは心と生活にゆとりと特性を持った町づくりが重要と思っております。

それらの特徴を活かすには、佐土原町はドーナツ状の連携した整備方法が最良と思います。中央部に久峰総合公園やゴルフ場の緑地はスポーツ・レクリエーションゾーン。その周辺部の国道219号線、10号線、県道宮本新町線・広瀬黒田線の環状は住宅ゾーン。その回りは環境保全と生産部分の農業ゾーン。そして外環状は自然ゾーンの一つ瀬川、太平洋、石崎川、松林、那珂の緑地が配された都市的で、また自然に囲まれた素晴らしいまちづくりが可能な地形でございます。

それらを考慮して、我が町の伝統ある「歴史と文化」をシンボル或いは誇りと思うことにより、今後の町勢にも大きく影響し、さらにそれを活かすことがまちづくりには必要欠くべからざるものと考えております。

そういう意味において、県指定の佐土原城跡は早急に国指定に向け努力し、歴史文化ゾーンにふさわしい整備を進めたいと存じます。

また、当町はその歴史を紐解くと、古月禪師や島津啓次郎等人づくりに徹したことでも大事なことと考えております。人的な触れ合を主体とした教育ならびに文化の振興により、人格形成にも努力いたしたいと存じます。

なお、健全な心身保持・促進のためには、人間環境を優先に、生活環境、自然環境、生産環境の充実に、さらに全身全霊傾注いたしたいと存じます。

高速道、国道、県道、町道等の交通網の整備による、陸海空への一層のアクセスの充実。上水道及び下水道、ゴミ処理場の安定確保・適正処理による環境への配慮。また、河川、海、池沼、森林、農地の保全策による自然資源の保持等は私たちが生きるため、また21世紀に向けた佐土原のまちづくりには、先送りできないこととして考慮してまいりたいと存じます。

また、潤いを持って生きるための施策としては、心と食するための糧が必要でございますが、本町基幹産業の農業の振興を第一に掲げ、気象・土壤・水利条件に合った安定した、安全な作目の生産に積極的に取り組む考えであり、自給率と農家所得の向上に努めたいと存じます。努力の賜物と敬服する次第でございます。

さらに雇用の確保のためには、宮崎テクノリサーチパークに企業立地を促進するとともに、町内企業の生産環境改善を目指し、新たな工業用地に移転拡充を図り、就業機会の拡大を推進したいと考えております。

なお、消費流失の著しい商業については、商業ゾーンの整備と商店街組織の拡充、あるいはカードシステム等の充実を促し、消費者ニーズに対応した商業振興を進めてまいりたいと考えております。

また、心に潤いを満たすために、文化・芸術に親しみ余暇を充実したものとするため、花の回廊づくりやイベント等の創出に十分考慮し、人間らしく・佐土原らしいまちづくりに町民とともに取り組み、名実ともに宮崎県一の町にしてまいりたいと存じます。